

令和2年度 第1回庄内町行政改革推進委員会 会議録

- 1 開催日時 令和2年8月27日（金） 15時55分～17時10分
- 2 開催場所 庄内町役場 第二会議室
- 3 出席委員 小野英一、工藤隆、齋藤俊勝、長南美香、早坂和彦、伊藤和美、
- 4 欠席委員 長南直樹
- 5 事務局等 海藤総務課長、齋藤改革推進係長、佐藤主任

-----  
(15:55)

1 開 会 総務課長

2 委員長あいさつ

3 報 告

- (1) 使用料・手数料の見直しに係る基本方針について
- (2) 令和2年度行政評価専門部会報告書について

4 協 議

(1) 第3次行財政改革推進計画について

【事務局】資料に基づいて説明。

【委員長】今回は第3次計画の策定に向けて、フリートークに近い形での意見交換をお願いします。

【委 員】計画期間は5年だが、長期的な目標、10年以内に達成するというものがあった方がいいと思うが、1年ごとの数値目標があったほうがよい。

【委 員】住民評価はものによって評価方法がちがうので難しい。住民サービスに直結するものから取り組むなど、優先順位をつけて取り組んではどうか。

【委 員】評価基準は計画時に設定しておくべき。目標はわかりやすく、具体性を持たせると、そのために何をするのがわかると思う。絵に描いた餅にならないよう、数値で進行管理してほしい。

【委 員】現在のコロナの状況下で、窓口対応が困難になっており、ネット申請への移行、窓口ではタッチパネル操作で対面時間を減らすようになってきている。こういった変化への対応が急がれるし、人員減・コスト削減が期待できる。マイナンバーカードの普及も進めてほしい。

【委 員】事務作業工程の見直しは、実際にやっている事務作業が何かを見える化し、現状の事務作業について住民等の不満な点を聞く機会を持ち、そしてどうしていくかという作業なので、すり合わせに時間が必要だろう。難しいところは後回しにし、できるところからやって行き、IT化が導入できないかを含めて検討すべき。

【委 員】マイナンバーカードは担当課より他課の作業軽減につながる効果が期待できる。

【委 員】行政コスト計算という、コストとサービスの透明化を図るよう、財務省で公会計に関する新たな考え方を示してきている。

【委 員】計画はコロナ禍や災害は想定せず、現状が続くものという考え方になっている。成果指標はコストと住民満足度で計測できないか。

【委 員】数値に拘るもの、拘らずにサービスの質の向上を図るものがある。満足度とコスト、把握は難しい。文字数が多いものは読むことが面倒となり、住民の関心は低くなる。計画はシンプルなものにすべきだろう。

【委 員】そろそろコンパクトシティということを考える時期では。多額の経費を投入して庁内全域のインフラ維持をするより、その経費を移転補助に替えて行政負担が軽い町づくりを目指

してはどうか。

【委員】こういった資料準備や集計作業も、合理化し削減すべきだろう。

【委員】未達成となった事業の行き先、代替案、休止、廃止、統合などをどうするのか。生命や生活を守ることは優先し残すべき。

【委員】終了・継続・様子見といったグレイな結末も仕方ないのかもしれない。

【委員長】既存計画ではアウトプット指標とアウトカム指標が混在している。新計画ではその点も注目したい。IT化はもちろん取り組むべきものと考えている。

本日の意見を参考に、計画案の作成を進めてほしい。

(2) その他

第2回委員会 10/1 (木) 15:00～ 日程決定。

5 その他 特になし

6 閉会 (17:10)